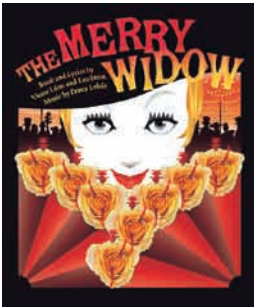


魅惑のオペレッタ「メリー・ウィドウ」追加公演チケットをシテイ読者10組20人に 心とききめくオシヤレな大人の恋物語



「見なきやソソる極上の楽しさをお届けします！」と、指揮者・佐渡裕



粋なデザインで目を引くポスター

兵庫県立芸術文化センター

世界中で愛されるオペレッタの名作「メリー・ウィドウ」が、6月21日(土)〜7月6日(日)、兵庫県立芸術文化センターで公演。早くも追加公演が決定した、その魅力をじっくり紹介します。

日本のみならず、世界的に活躍するマエストロ・佐渡裕がプロデュースするオペレッタ「メリー・ウィドウ」花の都パリを舞台に、巨万の富を相続した陽気な未亡人・ハンナと、その大金を目当てに群がる男たちが、オシヤレな大人の恋物語を繰り広げます。果たして、その恋の結末は……?

1905年の初演以来、世界中で親しまれ、上演されている「メリー・ウィドウ」は、美しい音楽に、ダンス、笑いが融合された、まるで「おもちゃ箱」のような粋な作品。主人公・ハンナ役は、日本が誇るソプラノ、佐藤しのぶと塩田美奈子の豪華ダブルキャストが実現。さらに、落語家・桂さくば、元宝塚歌劇団の平みちという異色のコラボも話題です。意外な狙い目の日曜公演。兵庫県立芸術文化センターの芸術監督でもある佐渡裕は、毎回、独創的な「佐渡マジック」で、心揺さぶるオペラを贈り続ける名手。夏のオペラ3作目となる今作でも、「ありったけの愛情を込めて、最高におしゃれで楽しい夢のステージをつくります！」この劇場ならではの、五感を揺るがす感動をぜひ体験してください」と、意気込みは十分。世界中で愛されるオペレッタを、間近で体感できる貴重なこの機会。すでに6月26日(木)・29日(日)は完売。6月21日、7月5日は残席わずかとなっているので、早めに公演情報をチェックしてね。意外な狙い目は6月22日と7月6日の日曜公演。ただし、D・E席は全日で完売。

公演スケジュール 6月21日(土)〜23日(月)・25日(水)・28日(土)・30日(月)、7月2日(水)・3日(木)・5日(土)・6日(日)。各日午後2時開演(6月23日・30日は午後7時) 料金 A席1万2000円、B席9000円、C席7000円(全席指定) 問い合わせ 0798(68)0255 ※月曜を除く午前10時〜午後5時

6月30日(月)公演・A席をプレゼント

シティリビングでは、「メリー・ウィドウ」6月30日(月)午後7時開演(開場午後6時15分)のA席チケットを、シテイ読者10組20人にプレゼント。特等席での観劇を楽しんでね。応募はCitywave大阪版(<http://www.citywave.com/osaka/sp/widow/>)から。6月18日(水)送信分締め切り。※応募者多数の場合は抽選。当選発表は、賞品の発送をもって代えます。



佐藤しのぶ(写真左)と塩田美奈子(同右)。生で聴くスター・ソプラノの美声に感動しそう

<http://www.citywave.com/osaka/sp/widow/>